

平成25年度 練馬区立旭丘中学校 学校評価報告書

練馬区立 旭丘中 学校校長 山谷 安雄 公印

1 自己評価結果

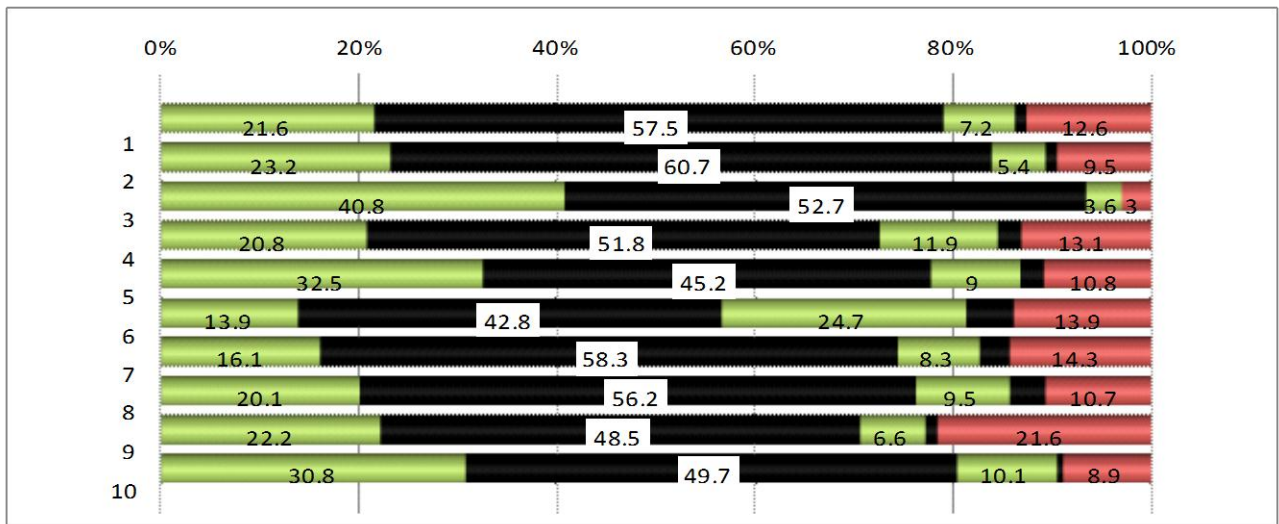
(1) 概要

- ① 「一人一人の生徒を大切にした教育活動」については、肯定的な意見が多いが、保護者の数値が低いため、個々の生徒の達成感・成就感を高めるように努めていく。
- ② 「優しさや思いやりの心の醸成」については、保護者・生徒とも高い数値になっている。道徳を中心に相手を思いやる心情を育てていく。
- ③ 「ルールを守る姿勢」については、保護者・生徒とも数値が高く、特に保護者から高い評価を受けている。今後も継続して指導していく。
- ④ 「学ぶ意欲、基礎学力の定着を目指した努力・工夫」については、保護者からの評価が低く、学習に対する要望に応じていく教科指導の努力・工夫を継続していく。
- ⑤ 「生徒会活動、学校行事、部活動等」については、教育活動の中で、重要なものと位置付けている。生徒の数値は高く、熱心に活動している姿は多くの場面で見ることができる。今後も生徒の活動の場を確保していきたいが、小規模校のため、十分な活動環境を整えることが課題である。
- ⑥ 「学校の施設・設備」については、施設改善への要望は高く、今後も、区教委に要望を続けていく。
- ⑦ 「地域の一員」について、地域防災訓練等の地域との活動に参加することで地域への帰属意識を高めているが、将来、地域を担う生徒を育てる活動を今後も継続していく。
- ⑧ 生徒は上昇している項目が多いが、保護者との差が大きい。学校の取組を保護者や地域に伝えるために、情報の発受信をさらに積極的に進めていく。

(2) 根拠となる資料

① 保護者アンケート

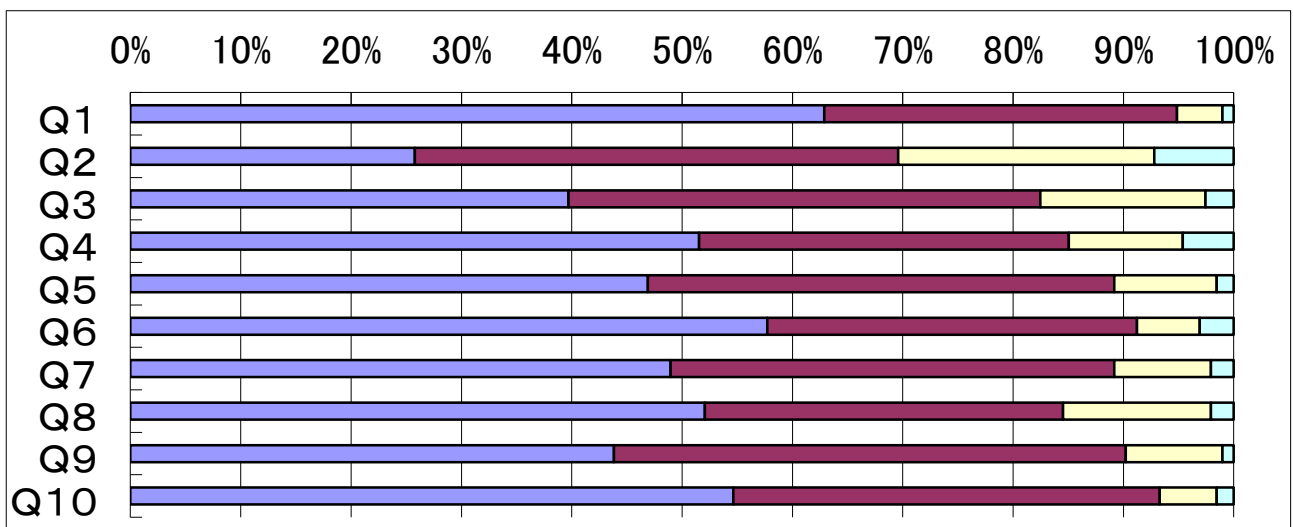
1	一人一人の生徒を大切にした教育活動が行われている。
2	生徒に「優しさ」や「思いやりの心」を育てている。
3	生徒に「学校や社会の基本ルールを守る姿勢」を育てている。
4	生徒の学ぶ意欲を伸ばし、基礎学力の定着を目指した努力・工夫をしている。
5	生徒会活動、学校行事、部活動などの諸活動の中で、生徒の自主的な活動を引き出している。
6	学校の施設・設備は充実したものになっている。
7	生徒に地域社会の一員としての自覚と誇りをもたせている。
8	生徒の学校生活の様子や学校の方針・考えなどを、わかりやすく外部に伝えている。
9	保護者や地域の声を大切にしたい学校づくりを進めている。
10	保護者が学校行事やPTA活動などに参加・協力しやすい学校である。



※左側から そう思う どちらかと言えばそう思う どちらかと言えばそう思わない そう思わない

② 生徒アンケート (生徒自身のことについて)

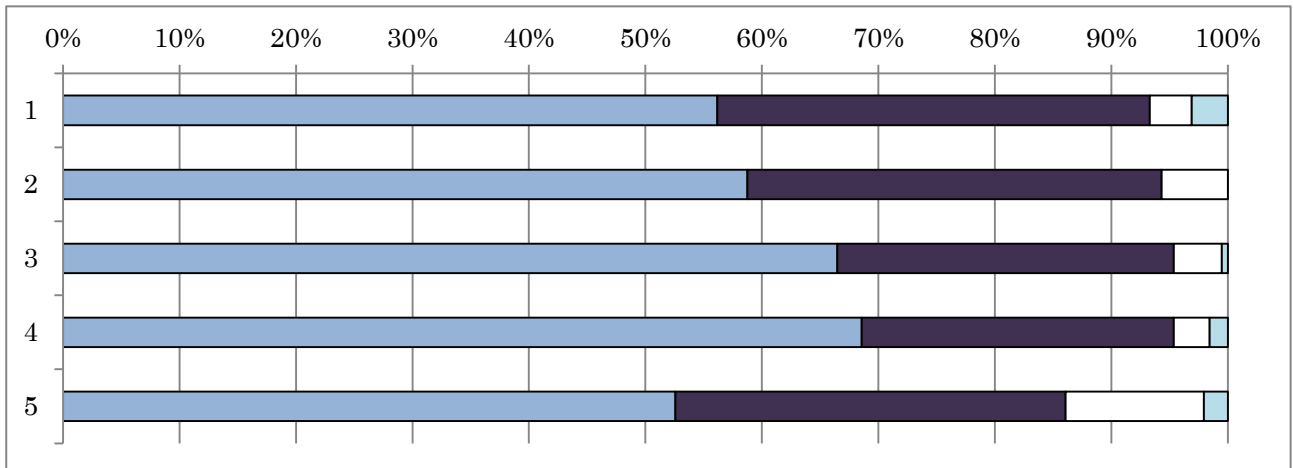
1	授業では、教科書・ノートなど必要な持ち物をしっかり持ってきています。
2	家庭学習にしっかり取り組んでいます。
3	授業中は集中して学習や作業に取り組んでいます。
4	担任・教科の先生から指示された提出物はきちんと提出しています。
5	授業中、先生の説明や友達の発言には、しっかり耳を傾けています。
6	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動などの中で積極的に活動しています。
7	学校で決められているルールを守り、まわりの人のことを考えながら行動しています。
8	自分の身体のこと、健康のことを考えて行動しています。
9	友達に思いやりの心を持って接することができます。
10	地域社会の一員として行動できました。(地域防災訓練等も含む)



※左側から そう思う どちらかと言えばそう思う どちらかと言えばそう思わない そう思わない

③ 生徒アンケート（旭丘中学校について）

1	旭丘中学校は、みなさん一人一人を大切にした教育活動を行っている。
2	授業は、みなさんの学ぶ意欲を伸ばし、基礎学力の定着を目指したものになっている。
3	みなさんは、日々安全で明るい学校生活を送っている。
4	学校行事は、みなさんにとって楽しく、充実感を得られるものになっている。
5	中学校の施設・設備は、みなさんにとって活動しやすく、充実したものになっている。



※左側から そう思う どちらかと言えばそう思う どちらかと言えばそう思わない そう思わない

④ 保護者アンケートの「肯定的評価」（そう思う・どちらかと言えばそう思う）の経年変化（%）

網掛け：前年より上昇

	①-1	①-2	①-3	①-4	①-5	①-6	①-7	①-8	①-9	①-10
22年度	72.0	75.3	78.1	61.9	78.9	64.1	62.0	70.3	72.2	84.6
23年度	79.0	83.9	93.5	72.6	77.7	56.6	74.4	76.3	70.7	80.5
24年度	85.5	85.3	92.5	73.6	85.4	57.2	74.8	77.2	72.3	81.1
25年度	79.1	83.9	93.5	72.6	77.7	56.7	74.4	76.3	70.7	80.5

⑤ 生徒アンケートの「肯定的評価」（そう思う・どちらかと言えばそう思う）の経年変化（%）

網掛け：前年より上

	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	②-6	②-7	②-8	②-9	②-10	③-1	③-2	③-3	③-4	③-5
22年度	93.0	50.0	89.2	79.0	89.9	86.0	86.0	76.3	88.1	69.9	81.2	85.5	87.1	76.3	70.4
23年度	93.5	66.5	89.7	85.4	91.9	89.7	90.3	81.1	90.3	89.2	91.4	91.4	92.4	88.1	83.8
24年度	93.2	57.1	83.6	79.7	91.0	93.2	91.5	81.4	91.0	89.8	95.5	92.7	93.2	92.1	84.2
25年度	94.8	69.6	82.5	85.1	89.2	91.2	89.2	84.5	90.2	93.3	93.3	94.3	95.4	95.4	86.1

⑥ 保護者アンケートの自由記述とそれに対する学校からの回答

○生徒数が少ない等、学校は小学生にもっと情報を提供して旭中の良さを宣伝をした方が良い。

⇒ 生徒数が少ないのは、本校の大きな課題であると認識しています。学区域の小竹小学校と旭丘小学校の生徒数が少ない中、小規模校の良さを意識しながら、本校が選ばれる学校になりたいと思っています。2校に対しては、部活動体験や生徒会の学校説明会や乗り入れ授業を行っています。

○先生に聞きに行っても友達に聞きなさいと言われた。聞きに行ける雰囲気をお願いしたい。

⇒ 教員が生徒に言った言葉の意味が、生徒によく伝わらなかった可能性もありますが、生徒から聞かれたときには説明するようになっています。

○定期テストの正答の解説がない教科がある。

⇒ 教科の事情もありますが、時間の許すかぎり、時間を取って説明できるようにしていきたいと思います。

○ホームページを魅力のあるものにしてほしい。

⇒ ホームページ作成のスペシャリストを育てていない結果です。改善に向けて努力していきたいと思います。

○英検や漢検を学校で開催をお願いしたい。

⇒ 受験者が少ないことが実施できていない大きな原因です。その他、勤務時間等クリアしなければならない事柄もあります。

○観点別評価のABCがわかりにくい

⇒ 年度初めに説明会を開いています。不明な点は、担任に聞いてほしいと思います。

○数学や英語は補習などしたほうがいい。

⇒ 補習をすれば、解決する問題ではなく、生徒の学習意欲と継続的な学習習慣だと考えます。授業改善と学習意欲を学校全体で課題として意識していきたいと思います。

○社会の先生が一人で、進度が遅い

⇒ 学習指導要領を基に年間指導計画に沿って授業を行っていますが、学習内容が多く、3年間で終わらせることで精一杯な状況です。都立の入試までには、一通り終わるように計画はしています。そして、次の段階として、復習に当てられるように進度を考えさせたいと思います。

○ホームページに進学実績が入っていない。

⇒ 進学高校名等を過去3年間分のせていきたいと思います。

○学校の役割について考えてほしい。

⇒ 学校、家庭、地域社会の三者が協力して子供達の教育を担っていくという意識が大切だと考えます。学校は、教える集団として子供達に様々な刺激を与え意欲を高め、分かる授業を行い、個に応じた生活指導を行っていきたいと思います。

○3年生の夏休みや日々の授業で総復習をお願いしたい。

⇒ 学校では、夏休み中に教室を開放したりして、学習の機会を与えています。子供達が自主的に自分の学習方法を顧みて計画を立てることも大切だと思います。

○施設が古い

⇒ 区全体の教育環境の施策があり、それに従っていくしかありませんが、要望は上げていきたいと思います。

○文化発表会の開会式の開始時間が早く、行ったら終わっていた。

⇒ 配慮がなく申し訳なく思います。お知らせした時間でスタートさせます。

2 学校関係者評価（成果・課題・改善策）

- ・合唱コンクールを始め、多くの学校行事に生徒は積極的に取り組んでいる。3年間の生徒の成長を見ることができ、保護者の参観も多く、学校に期待するものが大きい。行事の精選だけでなく、必要な行事は存続させていく意味を引き継いでいくことが重要である。
- ・学校のホームページがあるが、学校の紹介をもっとのせて地域に発信する必要がある。ホームページの担当者を育て、日常的にアップデートして、学校からの情報発信を活性化させていく。
- ・社会的に英語力の向上が叫ばれている。東京都の学力調査においては、本校の英語の正答率は平均を超えているが、校内では成績上位者と下位者の二極化が顕著である。質問教室、補充教室などを実施しているが、さらに下位層の底上げの方法が課題である。
- ・「地域社会の一員」を目指しているが、生徒はまだ学校行事のひとつとして関わっているだけである。町内会は高齢化が進んでいるため、非常時には中学生に力を発揮してもらいたい。また、将来的には、生徒個人の考えで、地域防災に関わってもらいたい。そのためには、学校からも地域防災に関する案内を生徒・保護者に発信していく。
- ・入学者数の減少が続いているため、学校の宣伝活動は必要であり、地域との連携だけでなく、生徒が地域に貢献する活動も考えるべきである。しかし、学齢簿登載者自体が減少してきているため、長期的には、中学校だけで解決できる問題ではないが、何かしらの手立てが必要である。
- ・小規模校ならではの生徒一人一人を大切にされた教育活動を実践し、生徒の達成感、成就感を高めていく。
- ・落ち着いた学校生活は、基本ルールを守る姿勢にもとづいており、保護者からも高い評価を得ている。今後も継続して、学校・家庭が連携して規範意識を高めていく。

3 評価結果の公表等

1月に、全保護者・地域・学校関係者に「旭丘中学校の教育活動に関するアンケートの回答について」を配布した。

学校ホームページに、本報告書をアップし、公表する。

4 次年度の学校改善へ向けた校長の見解

上記考察にあるとおりである。

5 補助資料

- (1) 「旭丘中学校の教育活動に関するアンケート」の回答について
- (2) 学校評価（内部評価）のまとめ